

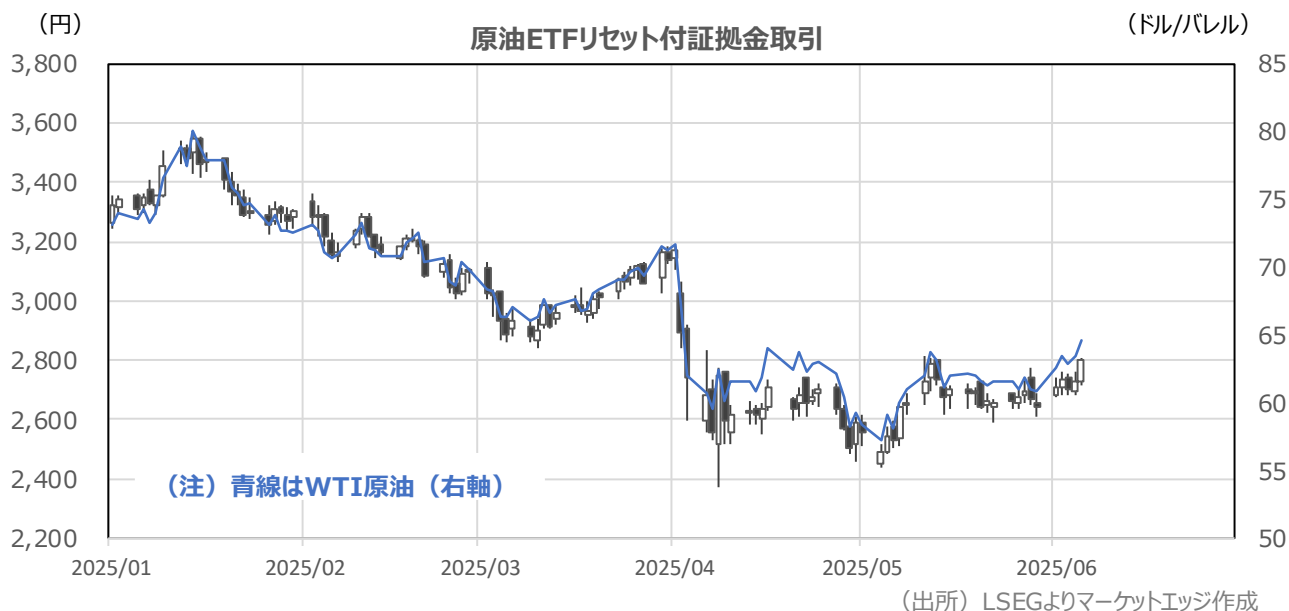
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/06/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



カナダ森林火災で底固く推移

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル中盤まで上昇する展開になった。石油輸出国機構（OPEC）プラス8カ国は5月30日の会合で、7月も日量41万1,000バレルの減産縮小を行うと合意した。しかし、事前に想定されていた数値を上回る対応がみられなかったことで、改めて原油相場を下押しする動きは見送られた。逆に、カナダの森林火災による供給障害、米中首脳の話話会談による通商リスク軽減期待、5月米雇用統計が株高を促したことなどを手掛かりに、4月23日以来の高値を更新した。

カナダでは広範囲にわたって森林火災が発生し、アルバータ州などでは原油生産施設から従業員の避難が行われている。また火災による停電の影響もあり、原油に限らず天然ガス、銅、金など広範囲にわたる鉱物資源の生産活動に影響が生じている。Reutersは6月3日付で日量46万2,000バレル、同国生産量の7%が喪失されたと報じているが、その後も被害は拡大を続けているとみられる。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月30日時点）は、原油が前週比430万バレル減、ガソリンが522万バレル増、石油精製品が423万バレル増となった。

【展望】

カナダ森林火災の影響で下げ渋る、先安感は維持されるも

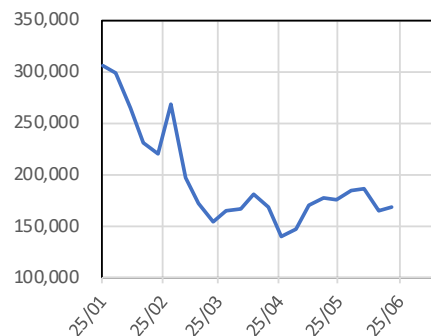
60ドル台前半から中盤での取引になりやすい。石油輸出国機構（OPEC）プラス8カ国が5月と6月に続いて7月も日量41万1,000バレルの減産縮小を進めることを合意したことを受けて、需給緩和見通しは強化される。サウジアラビアは8月と9月も同規模の減産縮小を支持するとの報道もあり、時間の経過とともに需給緩和圧力が強まりやすい環境に変化は見られない。このため、価格の基調は引き続き下向きであり、60ドル台前半から中盤は売り対応が基本になる。

ただし、足元ではカナダの森林火災が大きな不確実性をもたらしており、このまま大規模な生産障害が発生した状態が続くのであれば、現行価格水準で揉み合う展開になろう。森林火災の影響は先読みが難しいだけに、原油相場にも大きな不確実性をもたらす。過去のパターンからは、カナダからの供給不安で原油相場が急伸するリスクは限定されるが、4月23日高値64.87ドルを上抜くと、チャート主導の買い圧力も強まりやすくなることに注意が求められる。

一方、通商環境のリスク評価は揺れ動く見通し。6月5日に米中首脳の電話会談が行われ、通商協議を進める基本方針が確認されたことはポジティブ。実際に米中通商協議で進展が報告されると、リスクオン環境から原油相場も強含む可能性がある。一方で、トランプ大統領は各国との通商協議に大きな進展が見られないことに不満を表明しており、新たな関税策の発表などが行われると、60ドル水準まで下押しされるリスクを抱えている。

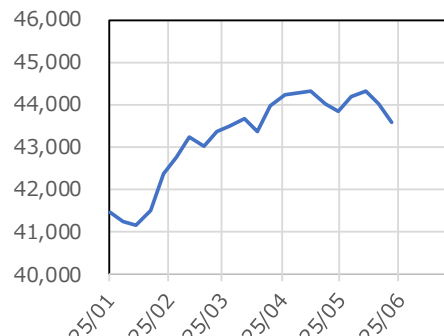
イラン核協議にも注意が必要だが、6月入りしてからは特に目立った報告は行われていない。ウラン濃縮を巡る米国とイランとの意見対立は解消される目途が立っていない。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



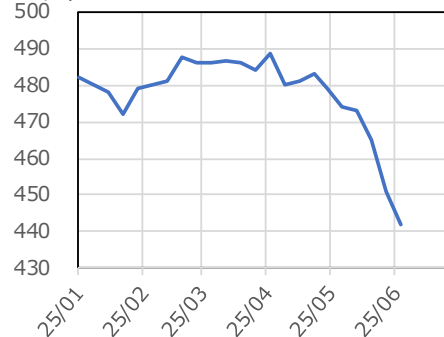
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

